



2023年2月14日

各位

会社名 アジア開発キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 孫 田夫
(コード：9318 東証スタンダード)
問合せ先 IR・総務チーム 村井 良多
(TEL. 03-5534-9614)

(開示事項の経過) 子会社の経営管理体制強化に関するお知らせ

2023年2月7日付け適時開示「内部管理体制確認書の再提出に関するお知らせ」にて記載のとおり、同日付けで当社は株式会社東京証券取引所（以下、「東京証券取引所」といいます）に対して内部管理体制確認書（以下、「同確認書」といいます）を提出いたしました。

同確認書において、同年2月13日に当社の子会社であるワンアジア証券株式会社（以下、「ワンアジア証券」といいます）の臨時株主総会（以下、「同総会」といいます）を開催する計画を記載しておりましたが、計画通り、同総会は開催されました。同総会で新たな取締役及び監査役が選任されたことを踏まえて、同日付でワンアジア証券は臨時取締役会を開催し、下記のとおり、経営管理体制を強化いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 役員の異動(2023年2月13日付け)

(1) 代表取締役の異動

新任	退任
すん たお 孫 田夫	こすぎ ゆたか 小杉 裕

(2) 新経営体制

取締役	すん たお 孫 田夫 (新任)	
	ささき かずなり 佐々木 一成 (新任)	
	おおはら たいら 大原 平 (新任)	
	ただの ひでみつ 但野 秀光 (新任)	(社外取締役)
	こすぎ ゆたか 小杉 裕	
監査役	すがた かつひこ 菅田 克彦 (新任)	

(3) 退任役員

取締役	こんどう しんいち 近藤 新一 てんじん ゆういちろう 天神 雄一郎
監査役	てらにし いさお 寺西 功

2. 経緯

当社は、東京証券取引所から、2021年8月7日付けで、内部管理体制等について改善の必要性が高いと判断され、当社株式について特設注意市場銘柄に指定されました。当社は、このことを厳粛に受け止め、内部管理体制の改善に取り組んできたところ、特設注意市場銘柄の指定から1年後となる2022年8月8日付けで内部管理体制確認書を東京証券取引所に提出し、審査を受けておりました。その結果、東京証券取引所から、同年9月28日付けで、当社において、社外取締役で構成する経営等監視委員会等の活動により、役員間の牽制が機能しつつある等、一定の取組が行われていることは認められたものの、「特定の人物に情報と権限が集中し、十分な情報共有や検討を行うことなく「融資証明書」が作成されるなど、当社の情報共有、協議・検討体制及び役員間の牽制体制には、依然として不備があること」、「子会社に対する内部監査は、事業実態等を十分に把握することなく、子会社管理の当社責任者へのヒアリングに留まるなど、不十分なものであること」などの点を中心として、内部管理体制に関して更なる取組を必要とする状況が存在しており、これらの改善に向けた取組の進捗等について、なお確認する必要があると判断され、当社株式について特設注意市場銘柄の指定を継続する旨の通知を受けました。

また、当社監査役会が行った件外調査によれば、当社の元執行役員でワンアジア証券の旧経営陣の1名を含む構成員により構成された当時の当社常務会が機能不全等に陥っていたこと、稟議フローの形骸化が生じていたこと、関連会社の取締役の報酬等に係る管理が不十分であったこと、関連当事者取引の妥当性に関する検証手続がなかったこと等が指摘されています。

そこで、当社においては当社株式の特設注意市場銘柄の指定解除に向けて、重要な子会社であるワンアジア証券に対するグループ内部統制機能（内部管理体制）を更に強化する必要があることから、新たに取締役及び監査役を追加選任する必要があるという判断に至り、昨日、当社は株主として同総会を開催し、新たな取締役4名及び監査役1名を選任いたしました。

ワンアジア証券の旧経営陣は、株主である当社の信任を得られていないことを理由として、同総会終結を以て全員が辞任することを表明していましたが、小杉氏については新体制への引継ぎを理由に本人から辞意の保留の申し出がありました。なお、近藤氏、天神氏及び寺西氏は、事前の表明どおり、同総会終結を以て、辞任いたしました。

以上